



## 鷹中2年生が立志式で

### 新たな目標に向って邁進

「将来の進路を真剣に考えよう。」と、鷹巣中学校では9月2日「立志式」を行いました。立志式は昔の元服にあたるもので、14歳の中学2年生が、自覚を新たに夢を実現させようと、クラスごとに決意を表明。最後に学年委員長長の成田純くんが「意欲的な学習態度で、夢を実現させるため精いっぱい努力する」と誓言。両親の見守るなか、新たな目標を定めて再出発を誓いあっていました。

## 人口と世帯数

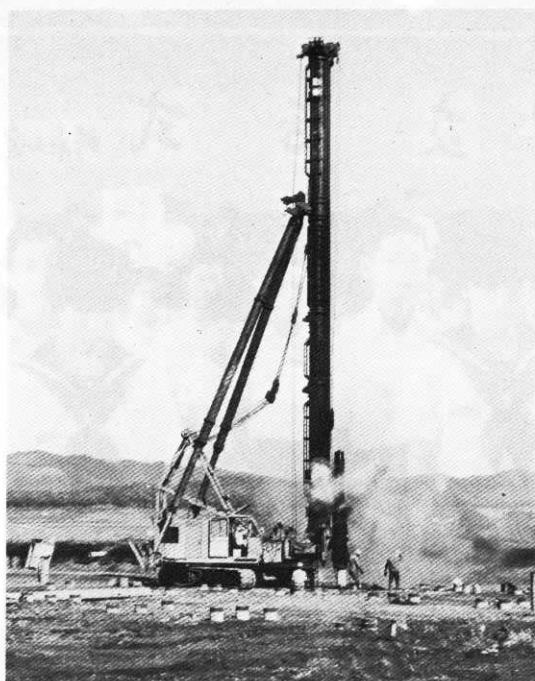
(住民基本台帳による)

| 8月31日現在 |         | (前月比)  |     |
|---------|---------|--------|-----|
| 総人口     | 25,033人 | (8人増)  |     |
| (出生)    | 21人     | 転入     | 57人 |
| (死亡)    | 21人     | 転出     | 49人 |
| 男       | 12,189人 | (10人増) |     |
| 女       | 12,844人 | (2人減)  |     |
| 世帯数     | 7,304世帯 | (4世帯増) |     |

南中学校が105号線バイパス沿に

# 今年の7月までに完成

6億5210万円を投じて



鷹巣南中学校は施設の老朽に伴い、学校の新築が求められていましたが、八月二十一日午前十時から、臨時町議会を開催し、脇神字塚ノ岱の敷地（三万三千六百七十八平方メートル）に、総工費六億五千二百十万円を投じて、今年の七月三十一日までに完成させることになりました。

鷹巣南中学校の新築は長年の懸案事項でありましたが、町や教育委員会では、学区の変更や建設場所の選定などを進めてきました。敷地については、ことしの春に地権者の同意を得たことから、鷹巣バイパス沿いの脇神字塚ノ岱の三万三千六百七十八平方メートルを、五月いっぱい

買収を完了させました。その後、敷地の整地をしましたが、八月二十日に建築本体内工事、電気設備工事、機械設備工事の入札を行い、同二十二日の臨時町議会で議決されました。新しく建設される鷹巣南中学校は、校舎が鉄筋コンクリート造三階建てで、一階は千二百四

十五平方メートル、二階は千二百七十三平方メートル、三階は八百五十八平方メートルの計三千三百七十六平方メートル。体育館は鉄骨造りでフロアーステージを含めて千五百五十六平方メートル、渡り廊下が三十六平方メートル、事務室やミーティングルームのクラブハウスは百七十二平方メートルで計千三百六十四平方メートル。合計で四千七百四十四平方メートルの規模となります。

## 多目的ホールも実現

部屋数は、普通教室が七、特別教室は、理科、音楽、技術、調理、被服、美術、視聴覚、図工の八に、準備室が七、集会などに活用できる多目的ホールが二階と三階に、それぞれ百三十五平方メートルのゆとりのあるスペースで造られることになり、恵まれた環境で明年の二期から教育が受けられることとなります。

工事は、建築本体内工事が五億二千三百五十万円で鷹巣建設共同企業体（代表・河田重夫）、電気設備工事は六千三百八十万円で合資会社小畑電気商会（代表社員・小畑隆郎）、機械設備工事は六千四百八十万円で日通プロパン鷹巣販売有限公司（代表取締役社長・間瀬利夫）が、それぞれ入札しました。

工期はいずれも、六十一年七月三十一日となっております。

## 合併30周年記念協賛

## わらび座公演

■日時 9月24日（火）午後6：30  
■場所 公民館分館（旧鷹巣小）  
■前売券 一般2,300円 高校1,500円  
小、中1,000円

※鷹巣地区労務所で

## 秋冬期出稼ぎ合同選考会

■日時 10月3日（木）9：00～12：00  
■場所 鷹巣中央公民館ホール  
■参加都府県 東京、神奈川、埼玉、千葉、静岡、大阪、広島、建設、製造業などの事業所

## 鷹角線の新会社申請にともない

## 運輸審議委員が鷹巣駅を視察

審輸省は9月11日免許状を交付

住民の足を守る鷹角線は、秋田内陸縦貫鉄道株式会社として、第三セクターで運営されることになっておりますが、地方鉄道の免許申請にともない、運輸省の諮問機関である運輸審議会の亀山信郎会長一行が来町し、八月三十日、起点となる鷹巣駅を視察しました。

阿仁合線は昭和九年に鷹巣、米内沢間で開設して以来、十一

年に阿仁合、三十八年に比立内まで延長し、鷹巣阿仁部の大動脈として、沿線の住民生活、地域経済、町村の振興発展を図ってきました。

しかし暴大な赤字に悩む国鉄の再建計画により、鷹角線の全線開通はもとより、阿仁合線、角館線とも廃止対象路線に指定され、存続がやぶまれていました。

このことから、県、沿線町村が協議を重ね、第三セクターで運営することになったものです。昨年の十月三十日付けで、秋田内陸縦貫鉄道株式会社（代表取締役社長・佐々木喜久治、資本金一億円）を発足させました。

町では職員一人を県に派遣し地方鉄道の営業にともなう許可の書類作成を行っていました。が、ことしの六月十二日鷹角線の免許申請をしました。

今回の運輸審議会の視察は、駅舎が設置される鷹巣駅構内の計画について説明を受けたものです。



出川町長の説明を受ける亀山会長

一行はその後、大野台地域開発整備構想、森吉山開発将来構想の説明を受け、阿仁町の車両基地、現業事業所建設予定地、比立内、松葉間の未開通地区間の二十九・三キロを視察して、角館へ向いました。

この結果、同委員会の答申を受けて、運輸省は九月十一日に免許状を交付。未開通区間の工事再開も早まりました。

なお、視察に先だって、町民百五十人が駅広場に集合。鷹角線全線開通促進決起集会が開かれ、委員の一行を歓迎しました。



## 町長日誌

出川禮一

8月16日～30日

■(金) 鷹巣阿仁開発に關して、連沼県企画調整部長の講演が鷹巣町農協ホールで行われた。地域開発には相当長い期間を要するものであり、自からの問題として、真剣に取り組まなければならないと強調された。

この日恒例の竜森地区集落対抗の球技大会があり、出席して激励をした。

■(土) 第十五回県民スポーツ大会陸上競技が、町村合併三十周年事業として、当

■28日(水) 町主催の地域林業シンポジウムが開かれ、林道、町有林等の現地調査を行った。引き続き造育林、間伐、林道管理の体験発表と、現状の厳しい林業及び木材産業について熱心に討論が深められた。

■29日(木) 市町村行政相談員(総務庁)及び行政連絡担当者会議があり、依頼を受けて「市町村の現状と課題」と題して、一時間の講演を行った。

町の競技場で開催された。早朝来、俄雨に見舞われたが、全天候グラウンドの威力を発揮し、競技は支障なく進んだ。地の利で町民多数が参加し、優秀な成績を収めた。

■20日(火) 役場職員OB友の会の主催で、町村合併以来三十年間に亡くなられた方がたの慰霊祭が中央公民館で行われた。遺族やOBが多数参加して、しめやかに供養していただいた。

■26日(月) 森吉町外四ヶ町村病院組合議会定例会に出席。

■30日(金) 運輸審議会委員現地調査及び概況説明会が行われ、亀山信郎会長ほか三委員と運輸省、新潟運輸局、秋田鉄道管理局などから十七人が来町し、鷹巣駅構内をはじめ全線を視察した。秋田内陸縦貫鉄道株式会社(昭和五十九年十月設立)が、運輸大臣あて地方鉄道を(松葉・比立内間の未開通二十九・三キロ)の、免許申請に基いて行われたもの。(一連の将来計画)早急な認可と未開通区間の工事再開を強く望むものである。



50人が出席した全線開通促進決起集会



# 五年に一度の大規模な

## 国勢調査は十月一日現在で

### 国の最も基本的な調査

十月一日に行われる国勢調査は、全国の約一億二千万人に及ぶ人口を漏れなく重複しないで調査する大規模なもので、国をささえる人口の状況を明らかにする、国の最も基本的な統計調査です。

国勢調査によって作られる統計は、福祉対策、住宅建設計画、環境整備計画など、国や地方公共団体の行政施策立案などの、基礎資料として広く利用されます。

### 国勢調査の歩み

全国的に近代的な人口調査が行われたのは、大正九年の第一回調査が初めてです。

調査はその後五年ごとに実施されていましたが、昭和二十年は戦争のため実施されませんでした。

戦後は、二十二年に臨時国勢調査が行われ、二十五年に一九五〇年世界人口センサスの一環

として大規模な国勢調査が実施され、以来五年ごとに行われ、ことしの国勢調査は十四回目にあたります。

### 今回の調査の特色は

■わが国では、出生率の低下と平均寿命の伸びにより、他の先進国を上回る勢いで人口の高齢化が進行していますが、高齢化社会にそなえ、高齢者の地域的分布、就業の状況、居住状況などが明らかにされます。

■経済の安定成長により、人口の地域間移動は緩やかな動きですが、最近、大都市集中の兆しがありますので、人口の地域分布及び移動の状況が詳細に示されます。

■技術革新や経済のサービス化などにより、産業構造などが変化しつつあり、全国、都道府県別に明らかにされます。

■生活水準が高まったとはいえ、通勤問題、住宅問題、家族問題など古くて新しい問題や、新たに顕在化した問題も少なくありませんので、これらの実態も明

らかにされます。

### 調査票の配布と回収は

9月24日～10月7日

国勢調査は、日本に居住するすべての人を、十月一日現在、ふだん住んでいる場所で、世帯ごとにまとめて、漏れなく重複しないで調査します。

したがって、九月二十四日(火)から十月七日(月)までの間に、

国勢調査員がみなさんの世帯を訪問して調査票を配布し記入をお願いいたします。

その後、再度、国勢調査員が訪問して、ご記入いただいた調査票を回収します。

この調査は、住民基

本台帳の届出の有無に関係なく、ふだん住んでいるところで行うもので、単身赴任は寝泊まりの多い方で行います。また、出張や旅行などで一時不在の人も漏れなく記入してください。

### マークシート方式で

調査票は「光学式マーク読取装置」にかけて、マークを読み取る方式のものになっています。機械は人間と違って融通がききませんので、汚したり、折ったり、丸めたりしないでください。記入は、必ず黒鉛筆でワキつぶしてください。



## おしらせ

### 原爆被害者の実態調査にご協力を

厚生省では、原爆被害者について実態調査を十月三日(木)に実施します。

この調査は、被爆者の方々の生活、健康等の状況を総合的に把握するとともに、原爆による死者の状況を明らかにするための資料を得るためのものです。六十一年八月一日現在で被爆者健康手帳を持っているすべての人に、十月二日までに調査票が秋田県福祉保健部保健衛生課から、郵送されますので御協力をお願いします。

### 行政書士の試験

県では昭和六十年年度行政書士試験を十月二十七日(日)に、秋田県庁正庁で実施します。

受験希望の方は、六十円切手をはったあて先明記の返信用封筒を同封し、九月二十八日まで次のところで受験願書用紙の交付を受けて手続してください。

秋田市山王四丁目一番一号

秋田県総務部地方課「行政書士試験願書請求」と朱書きしてください。



## 9月15日は敬老の日

## 2,100人が長寿を祝う

最年長は96歳の和田さん

町では、長年にわたり地域社会に貢献したお年寄りを敬い、九月十五日の「敬老の日」を中心に敬老式が行われますが、ことしの七十歳以上の対象者は、昨年より六十二人多い二千六百六十二人となりました。

地区別では、▽七座百二十九人（前年より十二人増）▽坊沢百八十人（九人増）▽綴子四百七人（十三人増）▽鷹巣六百九十人（十二人増）▽栄百三十九人（一人増）▽沢口二百四十八人（十人増）▽七日市二百三十二人（五人増）▽青山荘八十七人。

敬老式では、七十五歳以上に祝品、七十七歳に賀詞、八十八歳に鳩杖と祝金を送られます。



1 松尾利一郎さん



2 渡辺勝蔵さん



3 簾内基太郎さん



4 河田長吉さん



5 津谷米三郎さん



1 和田タツさん



2 沢田ミサさん



3 堀部セツさん



4 近藤サタさん



5 高橋チヨさん

## 昭和60年男女別長寿ベスト20

| 氏 名     | 生 年 月 日     | 年 齢 | 住 所     | 順 位 | 氏 名     | 生 年 月 日      | 年 齢 | 住 所     |
|---------|-------------|-----|---------|-----|---------|--------------|-----|---------|
| 松 尾 利一郎 | 明治24. 11. 5 | 93  | 太 田     | 1   | 和 田 タツ  | 明治21. 10. 25 | 96  | 青 山 荘   |
| 渡 辺 勝 蔵 | 26. 11. 22  | 91  | 昭 和     | 2   | 沢 田 ミ サ | 22. 9. 25    | 95  | 前 山     |
| 簾 内 基太郎 | 26. 12. 1   | 91  | 今 泉     | 3   | 堀 部 セ ツ | 23. 1. 7     | 95  | 葛 黒     |
| 河 田 長 吉 | 27. 3. 5    | 91  | 元 町     | 4   | 近 藤 サ タ | 23. 11. 1    | 94  | 青 山 荘   |
| 津 谷 米三郎 | 27. 4. 2    | 91  | 青 山 荘   | 5   | 高 橋 チ ヨ | 25. 6. 26    | 93  | 綴 子 上 町 |
| 村 上 与茂治 | 27. 10. 7   | 90  | 青 山 荘   | 6   | 長 崎 ハ ル | 25. 7. 25    | 93  | 前 山     |
| 戸 島 仁 吉 | 28. 1. 10   | 90  | 新 屋 敷 町 | 7   | 中 島 ミ チ | 25. 10. 28   | 92  | 小 ケ 田   |
| 会 田 欽太郎 | 28. 1. 20   | 90  | 前 山     | 8   | 成 田 ラキノ | 25. 12. 12   | 92  | 青 山 荘   |
| 中 島 吉五郎 | 29. 1. 14   | 89  | 東 横 町   | 9   | 村 上 テ ツ | 26. 5. 2     | 92  | 太 田     |
| 津 谷 与三郎 | 29. 7. 25   | 89  | 羽 立     | 10  | 日下部 ナ ツ | 26. 7. 17    | 92  | あけぼの町   |
| 佐々木 金之助 | 29. 9. 13   | 89  | 太 田     | 11  | 清 水 サ キ | 27. 1. 30    | 91  | 東 横 町   |
| 佐 藤 幸 助 | 29. 10. 27  | 88  | 根 木 屋 敷 | 12  | 成 田 シ エ | 27. 6. 19    | 91  | 今 泉     |
| 和 田 作 治 | 29. 11. 1   | 88  | 米 代 町   | 13  | 鈴 木 ナ ツ | 27. 7. 10    | 91  | 上 舟 木   |
| 佐 藤 金次郎 | 30. 3. 23   | 88  | 住 吉 町   | 14  | 小 林 ミ ヨ | 27. 11. 20   | 90  | あけぼの町   |
| 成 田 竹 松 | 30. 4. 1    | 88  | 東 横 町   | 15  | 成 田 キ ツ | 27. 12. 7    | 90  | 住 吉 町   |
| 斉 藤 憲一郎 | 30. 4. 3    | 88  | 青 山 荘   | 16  | 小笠原 ツ エ | 27. 12. 10   | 90  | 前 山     |
| 亀 山 新三郎 | 30. 4. 3    | 88  | 宮 前 町   | 17  | 能登谷 ハ ル | 28. 4. 7     | 90  | 坊 沢 上 町 |
| 長 岐 民 治 | 30. 5. 20   | 88  | 七日市 5 組 | 18  | 畠 山 ツ ネ | 28. 7. 4     | 90  | 藤 株     |
| 武 田 万 二 | 30. 7. 11   | 88  | 今 泉     | 19  | 桜 庭 フ ミ | 28. 7. 25    | 90  | 蟹 沢     |
| 岩 本 仁吉郎 | 30. 9. 20   | 87  | 住 吉 町   | 20  | 山 内 ミ ネ | 28. 10. 7    | 89  | 糠 沢     |

町の農業振興の10年後を考え

# 総合計画を見直します



農業農村整備計画に基づき、国の補助、融資事業の集中的実施、税制上の優遇措置や国有財産の活用が図られることになっていますが、特に、次により計画の達成を図ることにしています。また、昭和四十八年に計画した農業振興地域整備計画の見直しを行ない、鷹巣町農業振興の、十年後を見直してつくる総合計画でもあります。

農業農村整備計画は、地域の総合的な振興および整備を図るための基本計画です。この計画に基づいて、国や県は各種の農業・農村に関する事業を総合的に実施することになります。

## 計画策定の経緯と必要性は

本町では、昭和四十七年に農業振興地域の指定を受け、四十八年度に計画策定を行い、同年に認可された整備計画に基づいて、山村振興事業や林業構造改善事業などを推進してきました。

しかし計画策定からすでに十二年間が経過し、その間、水田利用再編対策をはじめ、兼業化の進行、農業後継者不足、農用地利用の低下など、農業をめぐる情勢がめまぐるしく変化し、農業生産の再編成が望まれております。

また、農村社会においても、地域の連帯感の希薄化、集落機能の低下などがみられます。

このため、農業農村整備計画では「実施プログラム」を作成し、各種事業の採択等農業施策の総合的かつ計画的な実施を図ることにしています。

また、国の補助、融資事業は、農業振興地域で集中的に実施されますが、農業生産基盤の整備開発事業、農業近代化施設の整備に関する事業などは、原則として農用地区域を対象に実施されます。

そのほか、農産物の広域的流通加工近代化施設などの整備事業も、農業振興地域を対象に実施されることになります。

これらの諸問題に対応するため、農業生産基盤の整備および



開発、農業経営の規模拡大、農用地などの効率的な利用促進が望まれます。

また、農業近代化施設の整備や安定した就業の機会を確保し、生活環境の整備、地域資源の利用、管理保全など、本町の実態に即した総合的な振興や整備計画をたて、活力ある町づくりを進めなければなりません。

このため、六十、六十一年度で、農業農村整備計画を策定することになりました。

計画策定にあたっては、農業経営の実態や将来の希望、農業に対する考え方、地域の現状などを把握する必要がありますので、農家個々の意向調査を行い、計画に反映させなければなりませんので、みなさんの協力をお願いいたします。

# 農業農村整備計画の内容は

## ■農用地の利用計画

農業振興の基盤となる農用地などの確保や農業上の土地利用の計画化をねらいとして、農用地として利用すべき土地の区域（農用地区域）と、その区域内にある土地の農業上の用途区分を定めます。

現在、農用地などでも、今後開発して農用地として利用

する、山林原野などを農用地区域として区分します。

農用地区域に指定されると、住宅や工場建設、植林、公共施設などの行為ができなくなりま

## ■経営の規模拡大や農地の効率的な促進計画

この計画は、鷹巣町における農用地等の流動化、農作業の受

委託、農業の共同化、農業の生産組織、地力の維持増進などの方向を明らかにするものです。

また、それらを実現するための地域農業集団の育成対策、農用地の集団化対策、農用地利用増進事業および、農地保有合理化促進事業など農用地の流動化対策、農作業の受委託の促進対策、農作業の共同

化対策、農業生産組織の育成対策、地力の維持増進対策の方向について策定します。

## ■農業生産基盤の整備開発計画

この計画は、用排水改良、区画整備、農道整備、客土、農用地造成など、農業の生産性向上と、需要の動向に対応できるような土地基盤の整備開発を進めるために、今後十年間にわたって実施する事業の計画を策定します。

## ■農業近代化の整備計画

この計画は、農産物の生産から流通、加工の一体的な機械施設を整備する構想を明らかにします。

- ▽共同栽培管理施設（農業機械、育苗施設、定置配管施設、温室管理施設、れき耕施設など）
- ▽共同集出荷貯蔵施設（集荷所、貯蔵所、集乳所など）
- ▽共同処理加工施設（穀類乾燥調整施設、乾燥施設、加工施設、畜産物処理所など）
- ▽共同飼料供給施設（農業機械、飼料調整貯蔵運搬施設など）
- ▽農業廃棄物処理施設など

## ■就業の確保と拡大計画

本町において、推進する必要がある農業従事者の、安定的な就業の促進目標をたてる。具体



的には農家の出稼ぎ、日雇などの不安定兼業の就業実態を踏まえて、これらの農業従事者の就業改善の目標を明らかにします。

## ■地域資源の利用と管理保全に関する計画

この計画では、本町における未利用、低利用の諸資源の状況を明らかにするとともに、これらの利用および管理保全の現状を踏まえ、これらの資源の有効な利用と適正な管理保全を図るための構想を明らかにします。

## ■農村生活環境の整備計画

この計画は、地域内における生活環境の改善を図るため、安全性、保健性、利便性、快適性

および文化性を再点検し、整備、改善を要する施設の計画を樹立します。

- 主なものとして▽集落道▽生活排水施設▽飲用水施設▽防災安全施設▽コミュニティ施設▽生活改善センター▽集落会館▽ガードレール▽農村公園▽農業者健康増進施設：です。

## ■その他の計画

農業と林業は、土地、水、森林資源の利用について密接な関係にあります。

就業、所得面でも相互補完関係にありますので、これまでの計画に併せて、森林の整備、その他林業の振興との関連も定めます。





# 町民体育祭

## 熱気で台風



綱引きで優勝した綴子

台風十四号と十三号の接近で天候が心配されていた九月一日、二十二回目の町民体育祭が鷹巣競技場で開催されました。ことは、合併二十周年記念事業として、芸能フェスティバルが実施されたことから、競技時間を圧縮して開催されましたが、七地区から千人を越す選手が参加。年代別リレー、遊競技、千五百メートル



国旗を先頭に入場行進

綱引きなどで熱戦が展開されました。しかし午前十時頃から台風十三号の暴風圏に入り、正午には最大風速二十メートル近い突風が吹き荒れるという悪コンディションでしたが、役員、選手とも競技をスピーディーに進め、全天候競技場の利点も生かされ、正午過ぎに予定どおり終了することができました。

### 総合は綴子が優勝を飾る

各部と千五百メートル走の結果は次のとおりです。

- ▽少年の部①鷹巣五〇点②七日市四〇点③栄三〇点④綴子、沢口⑥坊沢⑦七座
- ▽男子の部①綴子一七五点②坊沢一六一点③沢口一三一点④鷹巣⑤七座⑥七日市⑦栄
- ▽女子の部①坊沢一二七点②鷹巣一一七点③綴子一〇七点④沢口⑤栄⑥七座⑦七日市
- ▽総合の部①綴子三〇八点②坊沢三〇二点③鷹巣二八四点④沢口⑤七座⑥栄⑦七日市
- ▽綱引き①綴子②七座③栄、鷹巣
- ▽応援賞①栄②坊沢③綴子
- ▽参加賞①七座②七日市③鷹巣
- ▽マナー賞①沢口
- ▽青年千五百メートル①宮腰正樹(七日市) 4分30秒②中島忍(沢口) 4分34秒③佐藤美則(坊沢) 4分35秒④堀内正弘(綴子)⑤熊谷芳広(七座)⑥中島浩文(沢口)
- ▽30代千五百メートル①高橋喜久雄(綴子) 4分40秒②永井通徳(坊沢) 4分42秒③津谷憲生(坊沢) 4分44秒④松橋良一(鷹巣)⑤中島力蔵
- (沢口)⑥内山正博(綴子)
- ▽40代千五百メートル①鈴木一弘(綴子) 4分38秒②篠内順一(七座) 4分58秒③本城谷武夫(鷹巣) 5分06秒④成田弘(沢口)⑤津谷正一(坊沢)⑥戸島敏雄(坊沢)
- ▽50代千五百メートル①佐藤弘夫(鷹巣) 5分35秒②大川孝造(綴子) 5分37秒③津谷長蔵(坊沢) 5分43秒④長岐金一(七日市)⑤中島光雄(沢口)⑥佐々木勲(鷹巣)
- なお、六十年度の町スポーツ栄光賞授賞は次の方がたです。
- 〔個人〕▽山口章〓全県軟式庭球大会優勝▽神成健一〓全県軟式庭球大会優勝▽佐々木勇美子〓全県軟式庭球大会優勝▽遠藤昭夫〓県体、全県、社会人バドミントン大会優勝▽篠内文雄〓県体スキー三部十五、優勝▽石田孝雄〓県体三部大会転優勝▽宮腰正樹〓全県都市対抗陸上競技三千メートル障害〔団体〕▽鷹巣バレークラブ〓全日本九人制クラブ・カップ男子バレーボール選手権大会優勝▽鷹巣野球協会〓全県OB野球大会優勝



# 芸能フェスティバル 四台で競演

▲綴子大太鼓が  
四台せいぞろい。  
大行列をしたがえた  
競演に町民もビックリ

町の合併三十周年記念のイベント「たかのす芸能フェスティバル」が、強風吹き荒れる九月一日（日）に開催されました。

午前十時三十分から銀座通りで歩行者天国が行われ、昔の遊びコマ廻しや竹馬にチビッコは大喜び。午後一時三十分からは、日本一の大太鼓が上町、下町から四台が繰り出し、台風十三号による風速二十分前後の強風が吹き荒れるなか、大行列とともに勇壮



▲太田番楽は、那須の与一が弓で扇を打ち落す「段の浦」の妙技を披露

▲小学生から大人まで出演した今泉の「駒踊り」



## 町職員初級資格試験

町職員採用資格試験を行います。受験希望者は、秋田県町村職員（初級）採用統一試験要領により、受験申し込みください。

### 初 級 職 員

- 採用予定人員 一般行政事務職員 若干名
- 受験資格 昭和35年4月2日～昭和43年4月1日生まれ
- 試験日（一次） 11月10日（日）二次試験は一次試験合格者について通知します。
- 試験場 秋田経済法科大学
- 申込受付 9月20日（金）から10月8日（火）まで、「勤務時間内」に役場総務課庶務係（二階）に申し込みください。
- 住所要件 (1)鷹巣町に住所（住民登録）を有している者。  
(2)町外に就職または就学のため、鷹巣町から転出した者で、世帯主（両親等）が鷹巣町に住所（住民登録）を有している者。

## 九月は障害者雇用促進月間

障害者の雇用を促進するため九月一日から三十日まで月間を定め、一人でも多く就職できるよう呼びかけています。

安定所の紹介で障害者を雇用した事業主に助成金を支給しますので、詳しくは安定所にご相談ください。

大館公共職業安定所鷹巣出張所 ☎六二―一二四〇



# 合併30周年記念 獅子大太鼓が

な音が町内に響きわたっていました。  
また、郷土芸能では、坊沢の獅子踊り、今泉の駒踊り、太田番衆が披露され、人垣がいく重にもでき、盛んな拍手が送られていました。  
午後六時からは公民館分館で青年会によるチャリティーバザーやファミリ―食堂が開催されるなど家族づれが訪れ、「十全とゴンキの歌謡ハロウ」のコンサートに熱心に耳を傾けていました。



▶ 躍動的な獅子の「獅子踊り」



▲ 華麗な坊沢の「仕出し奴っこ」



▲ 青年会のチャリティーバザーは格安とあって大繁盛

## 夜間当番医(夜間診療)の日程表

| 9 月 | 曜 日 | 医 療 機 関 名       |
|-----|-----|-----------------|
| 16  | 月   | 鷹 巢 病 院         |
| 17  | 火   | 戸 嶋 産 婦 人 科 医 院 |
| 18  | 水   | 近 藤 医 院         |
| 19  | 木   | 北 秋 中 央 病 院     |
| 20  | 金   | 佐藤外科消化器科医院      |
| 21  | 土   | 奈 良 医 院         |
| 22  | 日   | 藤 原 医 院         |
| 23  | 月   | 佐々木産婦人科医院       |
| 24  | 火   | 盛 岡 外 科 医 院     |
| 25  | 水   | 鷹 巢 病 院         |
| 26  | 木   | 戸 嶋 医 院         |
| 27  | 金   | 戸 嶋 産 婦 人 科 医 院 |
| 28  | 土   | 近 藤 医 院         |
| 29  | 日   | 北 秋 中 央 病 院     |
| 30  | 月   | 鷹 巢 病 院         |

## 町営住宅入居者募集!!

町営住宅に入居を希望される方は、休日以外はいつでも申込みできますので申込みください。

### 〔入居条件〕

- 鷹巣町内に住所または勤務先があり、税金などを滞納していない方
- 単身者でない方  
(但し男子60歳、女子50歳以上の方は入居できます)
- 収入は年間つぎの金額未満の方(例)
  - (1) 2人家族で給与所得者1人の場合……………約2,144,000円未満
  - (2) 3人家族で給与所得者1人の場合……………約2,556,000円未満
  - (3) 4人家族で給与所得者1人の場合……………約2,972,000円未満
  - (4) 5人家族で給与所得者1人の場合……………約3,376,000円未満
  - (5) 単身の場合……………約1,728,000円未満

### 〔申込み、問い合わせ先〕

鷹巣町役場建設課計画係

電話 62-1111 内線269・276

地域課題と心の豊かさ求め

学級連絡協議会で研修会

町婦人学級連絡協議会（高泉愛会長）では、八月二十四日（土）午後七時から、中央公民館ホールに会員七十人が参加して、第一回研修会を開催しました。

講師に土濃塚イマさん（合川町）を迎え、「これからの婦人のあり方」をテーマに楽しく学習。講演の要旨は次のとおりです。

私は長年、合川町の婦人活動にたずさわってきましたが、やはり、自分の住んでいる地域の身近かな問題や課題と取り組んでいく姿勢や視点をもった学習活動が重要です。

そして、これらの問題进行处理していくためには、事前にその問題についての十分な調査や観察を行い学習した上で、計画を練り上げ、それぞれの関係機関に働きかけ話を進めていきます。また、地域や学級の中の個人として、▽社会の動向に無関心な傍観者にならないこと。▽真の問題から逃げ出さない勇気をもつこと。▽物事に感動する心をもつこと。が大事です。

さらに昨今、目ざましい勢いで情報通信機器の発達があります。これは私達の生活が、将来、大きく変えることを意味します。

そのためには、私達は自分の狭い殻に閉じ込めることなく、常に新しい課題について学習していくことが必要となります。

文化祭のポスターを募集

ことしで十七回目の文化祭が十一月二日から四日までの三日間、中央公民館を主会場に開催されますが、文化祭のポスターを次の要領で、町民のみなさんから募集することになりました。多数応募されるようお願いいたします。

▼テーマⅡ「町づくりと文化を考える」

▼応募資格Ⅱ町内の小・中、高校生や、町内在住者または町内に勤務する一般の方がたで、氏名、年齢（学年）、性別、住所および勤務先（学校名）、電話番号を記入してください。

▼規格Ⅱ七六センチ×五一センチの用紙を使用し二色刷りとする。「第十七回鷹巣町文化祭」の文字を必ず入れてください。

▼募集Ⅱ十月五日まで、花園町一九番一号・鷹巣町教育委員会「文化祭係」まで届けてください。

このような便利性の裏側で、より対人関係が希薄になっていくことが心配です。

そこで、大事なことは▽便利さと豊かさのチガイについてよく認識しておくこと。▽心の豊かさをどうみがいていくかというところが、今後の大きな課題となっていくでしょう。

▼表彰Ⅱ入賞作品には賞状と記念品を授与します。なお優秀作品として採用する場合は、一部修正して使用することがあります。

秋田県婦人生活

記録史の発刊

企画から資料収集、執筆、編集まですべて女性の手によるもので、全県各地、各分野の婦人が参加しています。

巻末には年表をつけ、婦人問題の学習にも役立ちます。

限定出版ですので、お早めに申し込みください。

▽申し込み先Ⅱ秋田市山王四丁目一ノ一 県青少年婦人課内

秋田県婦人生活記録史刊行会

〇一八八六〇一―一三二五

※A五判函入で、各巻四百ページで定価は五千円です。

郷土史年表

| 西暦   | 年号   | 事                                                        | 項 |
|------|------|----------------------------------------------------------|---|
| 一九七六 | 昭和五一 | 〇十二月五日 第三十四回衆議院議員総選挙 佐々木義武、石田博英、佐藤敬治 川口大助 当選             |   |
| 一九七七 | 昭和五二 | 〇一月 町交通安全協会が交通事故発生数半減の成果が認められ、全日本交通安全協会会長表彰を受ける          |   |
|      |      | 〇一月 異状寒波が続き、真冬日（最高気温が零度以下）が二十一日にも達する。（昭和二十年につぐ三十二年ぶり）    |   |
|      |      | 〇四月六日 町立北保育園、糠沢にオープン                                     |   |
|      |      | 〇四月十四日 綴子児童館落成式                                          |   |
|      |      | 〇六月二十九日 三の渡橋竣工式                                          |   |
|      |      | 〇六月 フィンランド大使一行が大野台を視察                                    |   |
|      |      | 〇六月 鷹巣読書会で合評会十周年記念誌「夢現」を出版                               |   |
|      |      | 〇六月 秋田魁新報社主催の「新観光秋田三十景」の投票で、鷹巣中央公園が六万二千六百四十四票の得票で第十一位で入選 |   |
|      |      | 〇七月十日 第十一回参議院議員選挙 野呂田芳成当選                                |   |
|      |      | 〇七月十四日 日本最初の静止気象衛星「ひまわり」誕生                               |   |
|      |      | 〇七月 湯の岱地区のボーリングで湯脈を掘りあてる。三十八度の湯が毎分二百五十リットル噴出             |   |

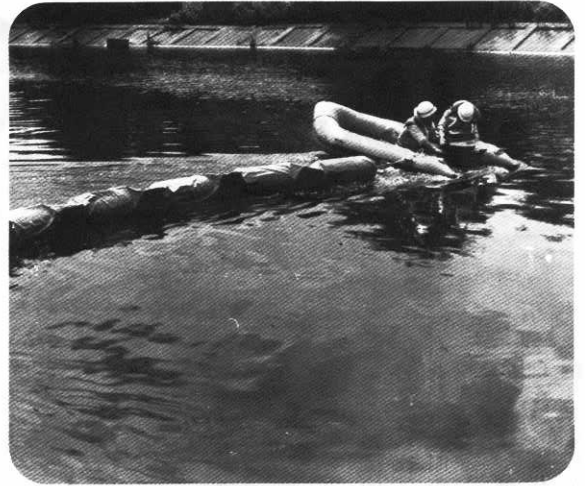


### 竜森小で父母と森林学習

竜森小学校では、児童たちが身近な森林に親しみ、緑を大切にしようということから、8月25日仙台石沢の学校林（2区）で森林教室が開かれました。ナタ、カマ、ノコギリを手にした児童28人、父母や地区の人たち50人余りが参加。児童たちも大人の指導を受けて除間伐作業を実施。また木によじ登っては学校で製作した巣箱を野鳥のため取り付けていました。

町老人クラブ連合会（小坂保雄会長）では、自からの運営で第2回ゲートボール大会を開催しました。近年はお年寄りのゲートボール熱も高まり、連日猛練習を積み重ねているだけあってスティックさばきも手慣れたもの。相にくの雨でコートが水びたしであったが参加17チームは雨カッパ着こんでプレー。鷹巣第六チームが綴子第四を18対9で降して念願の初優勝。

### 水びたしのコートでプレー



### 油の流出で想定訓練を実施

米代川水系水質汚濁対策連絡協議会では、油の流出を防ぐため、オイルフェンス設置訓練が、8月28日脇神地内の小猿部川右岸で行われました。県内でも油の流出事故が発生していることから、参加した各市町村担当職員や消防署員も真剣。オイルフェンスを三本結んで河川をせき止め、油の流出を防ぎ、オイルマットで回収するという作業に参加者は悪戦苦闘していました。



鷹巣農林高校の農林博物館が18年ぶりに再オープンすることになりました。昭和30年に周辺から出土した

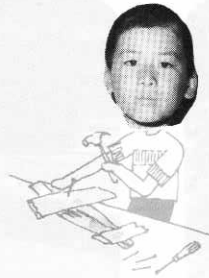
土器や石器を陳列して開館した博物館も、一時校舎の老朽にともない特別教室などに利用されたことから閉館していましたが、展示品を整理したほか、農機具や民具、代木器具など、数百点を展示し、農林業の歴史資料館として、9月4日に新たに開館しました。

### 農林博物館が18年ぶりに開館





# の広場



綴子小学校一年

たかはしたくやくん



## 栄地区の祭典統一を



太田 松尾 絢子 (60)

太田地区の秋祭りは、九月六日に行われ、ようやく過ぎ去った祭の余韻がまだ残っておりま

す。以前は、神社で村の人達が料理を持ち寄り、番楽、青年会の踊り等楽しんだのですが、こ

## 今回のテーマ『秋まつりの季節』

の頃は、祭典料理の仕度に忙がしく、神社へのお参りにも行けないような状態です。

祭典料理も年々派手になり、「今年はどんな料理をごちそうしようかしら」などと、頭を悩ます一大行事でもあります。

当婦人会では、栄地区祭典の統一を話し合い、集落役員との生活合理化推進協議会を開きました。統一祭典には、各役員会で賛成していただきましたが、期日の問題等で話し合いがつかず、今年は統一祭典を実施することが出来ませんでした。

地区統一だけで合理化になる

## 対談 親の意見・子供の意見

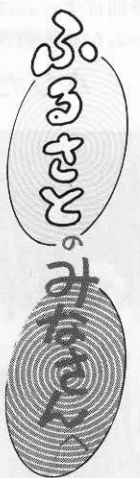


ウメモドキ

(モチノキ科)

男木と女木の区別がある。花の数は女木で1～7、男木で7～15。女木だけで結実するのは雄花も枝にまじってつけるため園芸種には大実の大納言や白実をつけるものもある。

(南小学校 畠山 益穂先生)



## 養父の墓参りに毎年帰郷する

埼玉県志木市 小塚 茂 (48)

私が鷹巣を離れたのはちょうど「新鷹巣町」が発足した昭和三十年である。

私が八歳の時養父を戦争で失ったこともあって、毎年お盆には堂ヶ岱にある墓参りのため帰郷する。つまり私は例年の如く終戦記念日は郷里鷹巣で過ごすことになる。

小学校に入ってから間もない頃、陣場岱の窪地の草むらで小さな身体を四つんばいにして前に進む訓練を受けたが何んのためなのかは良く解らなかった。でも夜中に飛行機の爆音

を耳にし、頭布をかぶった時には、無意識にも身震いしたことを忘れることは出来ない。生家の幼い甥たちを見るにつけ、この子らにこんな思いはさせてはならないと思うのである。

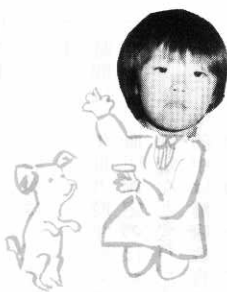
鷹巣は有数の森林の町、木材の町である。町民憲章の前文にも本文にも「緑」を尊ぶことを謳っており、誇りにさえ思う。だがいま人間の生存にとってかけがえのない「緑」は地球規模で失ないかけている。



私はいま労働運動に専従している。それは「緑」の再生と平和を希うからであるが、このようにふるさと鷹巣は私の心の大きな支えとなっている。坊沢生れの妻と共にわがふるさととの発展を祈る。▽小塚さんは堂ヶ岱出身の方です。



綴子小学校一年  
さとうひとみさん



# みんな

かどうか、いろいろ問題もあると思いますが、毎年同じパターンで実施している祭典を見直す意味で、よい事だと思っています。来年は、栄地区の統一された日程で、祭典が実施される事を期待しております。

## 祭りが統一されて



堂ヶ岱  
近藤 陽子 (31)

「村の鎮守の神様の今日はめでたいお祭り日……」 今年の秋祭りも終り、豊作の稲刈りを待つばかりです。

堂ヶ岱集落は、沢口地区の祭りが統一されてから九月五日になったが、以前は十一月だった

と聞いている。

私が八年前嫁いだ時には統一されていたので、沢口地区内の親戚の人には御神酒を飲んでもらう事ができず、ちよっぴり淋しいと思った。以前は親類縁者が集まって華やかな会話が交され、祭りを盛り上げてくれた。そんな雰囲気になくなった今、昔の祭りをなつかしく思う。

しかし、沢口地区の祭りが統一されてから、婦人部では祭りの料理講習会が行なわれたりし、生活の合理化がすすめられている。そして、祭りが近づく義母と祭りについて話し合い、祭りが統一されたわけを思い出し、また、ただの飲み祭りにならないよう、神をまつことも忘れてはいけないと思う。

今年もまた、子供みこしが練り歩き、祭りの思い出をつくってくれました。

## 広報のじあり

### 心の張り

十五日は  
敬老の日。

お年寄りを敬って、何もさせないように気をつかうというのは、本当に敬っていることなのでしょうか。

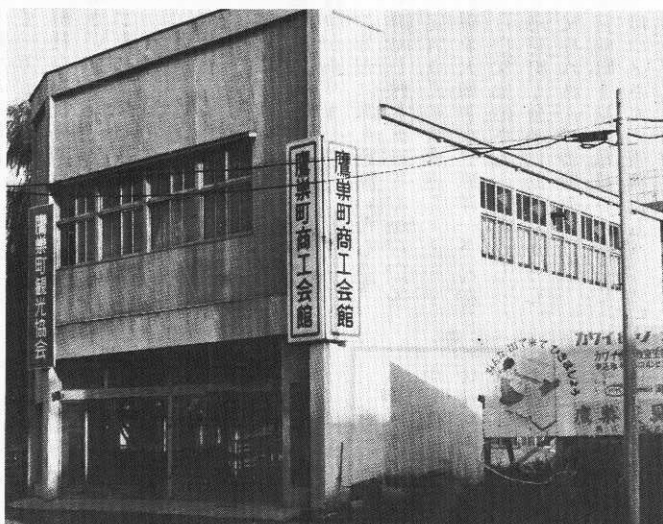
人間が生きていくうえで何が大切なかを考えてください。答えは「心の張り」でしょう。

お年寄りに気をつかい何もしてもらわないというのでは、敬うというより「心の張り」を奪ってしまうことになるのではないのでしょうか。

お年寄りを老け込ませないためにも、お年寄りならではの持ち味や特徴を家庭や地域社会に生かしてもらいたいものです。

この機会に、お年寄りの「心の張り」について考えてみましょう。

昭和40年に建てられた町の商工会館は、53年12月に完成した産業会館に移るまで、商工業のシンボルとして事務を取り扱うほか、会議や売出しなどが開かれた。現在は、解体され中央病院の駐車場となり、明るい町づくりの空間活用役に立っている。



たかのすの昔

# おしらせ



一線美術会運営委員 九島寮二氏

## 九月の健康相談

九月の健康相談は、次のとおりです。  
成人病健康相談は、二十五日です。

時間は、午前九時半から午後三時まで、血圧測定のほか、尿検査、体重測定などを行います。また、午前中は健康教育で、がん予防と食べ物について、午後からは健康体操など行います。場所は、中央公民館保健相談室です。

### 乳児健康診査は、十九日です。

対象は六十年四月十六日から五月十五日までに生まれたお子さんです。  
受付時間は、午後一時から一時半まで。

離乳食指導と七ヵ月児健康相談は、十九日です。

対象は六十年一月十六日から二月十五日までに生まれたお子さんです。

受付時間は、午前九時半から十時まで、おいでの時は母子手帳とバスカードを忘れずにお持ちください。

つこうで受診できない場合は次回に受診してください。  
※場所は、いずれも鷹巣保健所です。

## 結核検診と一般健康診査

結核検診、一般健康診査が各地域で実施されます。

日程は次のとおりですので、必ず受診してください。

- ▽9月25日 向黒沢(山内清松宅)
- ▽糠沢(北健康増進センター)
- ▽26日 高野尻、高野尻団地(高野尻会館)
- ▽太田(太田児童館)
- ▽27日 田沢(田沢会館)
- ▽掛泥(掛泥会館)
- ▽30日

## 献血にご協力してください

李岱(李岱会館) 岩坂、大沢(田村弘子宅) 摩当(栄生活改善センター) 10月1日 綴子大畑(大畑会館) あけぼの町(あけぼの町会館)

献血車が九月十八日巡回してきますので、多くの町民が協力してください。

時間と場所は次のとおりです。

- ▽職業訓練校前(午前十一時正午)
- ▽役場(午後一時半三時)
- ▽沢口農協前(午後三時二十分三時五十分)
- ▽陽清学園前(午後四時十分五時)

## NHK青年の主張全国コンクール

NHKでは、青年のみなさんが何を考え、何を感じているかを一般の人びとに訴えようとすると、若い世代のフレッシュかつ建設的な意見を交換することを目的に「NHK青年の主張全国コンクール」を毎年行っており

ます。

ふるってご応募ください。  
▽テーマ「思いっきり青春」「青春出会いの時」「世界へ向かって青春」の三つです。テーマの趣旨に沿ったものであれば題名は自由です。

## 善意

▽参加申込 出場希望の方はテーマを決めて、五分以内に発表が終わるように意見をまとめた原稿(四百字詰四枚程度)を十月十八日まで送ってください。  
▽送り先 秋田市山王 二-NHK秋田放送局「青春の主張」係(☎〇一八八-二三一五四二一内線二二七)

## 香典返し

このほど次のかたから、香典返しに町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

- ▽芳志に深く感謝いたします。
- ▽掛泥 村上重雄さんから亡父定吉さんの香典返し
- ▽綴子大畑 小笠原洋一さんから亡父福治さんの香典返し
- ▽舟見町 金子仁助さんから亡父与八さんの香典返し
- ▽宮前町 畠山亀雄さんから亡母ウメさんの香典返し
- ▽小森 川上助治さんから亡妻

## 慶弔だより

8月15日～8月31日

誕生おめでとうございます

- 藤嶋 淳子(洋二) 長女 南鷹巣
- 佐藤 沙里(勝人) 長女 黒森
- 南部谷 愛(悟) 長女 前野
- 山形奈央子(雅晴) 長女 旭町
- 堀内 明香(順悦) 長女 田中
- 澤田 良祐(公一) 長男 旭町
- 小塚 陽(義直) 長男 堂ヶ岱
- 浪岡奈保子(喜美雄二女) 太田
- 堀内 直哉(藤博) 長男 綴子上町
- 柏谷 雅人(清美) 二男 摩当

## おくやみ申しあげます

- 中嶋儀一郎(90歳) 川口
- 佐藤 稔(45歳) 田中
- 松尾 盛一(74歳) 松葉町
- 中島 三男(68歳) 佐助岱
- 高橋 米松(55歳) 高村岱
- 能登谷多七(77歳) 相善町
- 佐藤 ミエ(81歳) 下町

照子さんの香典返し  
▽新田中 湊美房さんから亡母ミワさんの香典返し

▽米代町 佐藤キクさんから亡夫勘治郎さんの香典返し